

伊藤健太郎さんが「モンブラン特別賞」を受賞！ 「人の記憶に残る作品を作りたい」と今後の展望を語る

Forbes JAPAN 30 UNDER 30 Meet-up 2019
2019年9月12日（水）会場：Mercedes me Tokyo(六本木)



この度、リンクタイズ株式会社が運営する『Forbes JAPAN』は、世界に多大な影響を与える30歳未満の30人、「30 UNDER 30 JAPAN 2019」のイベントを、9月12日（木）Mercedes me Tokyoにて開催いたしました。

「30 UNDER 30 JAPAN 2019」では、モデルの富永愛さん、日本フェンシング協会会長 太田雄貴さんらアドバイザリーボードメンバーが、エンタープライズビジネス、アート、スポーツなど10部門から日本で活躍する30歳未満の計30名を選出しています。また、本企画にはビジネスライフスタイルブランド「モンブラン」の「Mark Maker」という取り組みの中で選ばれた人物がアドバイザリーボードとして参画しているだけでなく、「Mark Maker」の中でも最も活躍が顕著な30歳以下の人物が、モンブラン特別賞受賞者として参加しています。

当日は、「モンブラン特別賞」を受賞したドラマや映画で注目を集める気鋭の若手俳優・伊藤健太郎さんにお越しいただきました。伊藤健太郎さんは、今回の受賞を受け「ファンの方にお会いする機会が増えたことで、自分だけでなく、応援してくださっている方々のために芝居をしたいという思いが強くなったため、今回役者としてこのような賞を受賞できて嬉しいです。受賞できたことを誇りに思ってこれからも頑張ります。」とコメント。さらに、今年の「Mark Maker」に選出された書道家・紫舟さん、スマイルズ代表取締役社長・遠山正道さん、hey 代表取締役社長・佐藤裕介さんらもゲストとして登場し、「これからどのような足跡を残したいか」についてトークセッションを行いました。伊藤健太郎さんは、「小学生の時に見た中井貴一さんの芝居が大人になっても記憶に残っていて、自分も何十年にもわたって人の記憶に残るような作品を作りたいです。」と語るなど、4名の登壇者の今後の展望や思いが詰まったトークセッションとなりました。

■出演者プロフィール

伊藤健太郎

1997年6月30日生まれ、東京都出身。

モデルを経て、ドラマ「昼顔～平日午後3時の恋人たち～」(CX)で俳優デビュー。

その後「学校のカイダン」(NTV)、「私 結婚できないんじゃないかと、しないんです」、「抑げば尊し」(TBS)などに次々と出演し注目を集める。『デメキン』('17)で映画初主演を飾り、以降『覚悟はいいかそこの女子。』('18)、『ういらぶ。』('18)、『犬猿』('18)、『ルームロンダリング』('18)、『コーヒーが冷めないうちに』('18)など多数の話題作に出演。2019年第42回日本アカデミー賞 新人俳優賞・話題賞 俳優部門を受賞。また、「アシガール」(NHK)の“若君”役や、「今日から俺は！！」(NTV)の“伊藤”役などユニークな役柄でも人気を博し、幅広い年代から支持されている。ラジオ「伊藤健太郎のオールナイトニッポン0」(ニッポン放送)ではパーソナリティを務めるなど活躍の場を広げており、今最も注目を集める若手俳優のひとりである。



紫舟

日本の伝統文化である「書」を、絵、彫刻、メディアアートへと昇華させ、文字に内包される感情や理を引き出す。その作品は唯一無二の現代アートであり、日本の思想や文化を世界に発信している。主な代表作は、NHK大河ドラマ『龍馬伝』、美術番組『美の壺』、伊勢神宮『祝御遷宮』、内閣官房『JAPAN』、ディズニー・ピクサー『喜怒哀楽嫌怖』、SHISEIDO グローバル展開製品のパッケージ、など。2017年、天皇皇后両陛下(現、上皇上皇后両陛下)が『紫舟』展に行幸啓され、紫舟は拝謁の彌栄を賜り、自ら作品をご案内。



遠山正道

1962年東京都生まれ。慶應義塾大学商学部卒業後、85年三菱商事株式会社入社。

2000年株式会社スマイルズを設立、代表取締役社長に就任。現在、「Soup Stock Tokyo」のほか、ネクタイ専門店「giraffe」、セレクトリサイクルショップ「PASS THE BATON」、ファミリーレストラン「100本のスプーン」、コンテンポラリーフード&リカー「PAVILION」、海苔弁専門店「刷毛じょうゆ 海苔弁山登り」を展開。「生活価値の拡充」を企業理念に掲げ、既成概念や業界の枠にとらわれず、現代の新しい生活の在り方を提案している。近著に『成功することを決めた』(新潮文庫)、『やりたいことをやるというビジネスモデル-PASS THE BATONの軌跡』(弘文堂)がある。



佐藤裕介

2008年、Googleに入社し、広告製品を担当。2010年末、COOとしてフリークアウトの創業に参画。また、株式会社イグニスにも取締役として参画し、2014年6月にはフリークアウト、イグニス共にマザーズ上場。2017年1月、フリークアウト・ホールディングス共同代表に就任。エンジェル投資家としても活動。



■Forbes JAPANについて

フォーブス ジャパンは『Forbes』の日本版として 2014 年 6 月に新創刊。グローバルな視点を持つ読者たちに向け、『Forbes』US 版、各国版の記事をキュレーションし、日本オリジナル記事と共に構成。毎号ライフスタイル記事を同載し、読者へオンとオフの情報を発信しています。その Web 版 forbesjapan.com では Forbes.com が日々配信する多彩な記事をキュレーション。本誌記事、専門性のあるオフィシャルコラムニストによるオリジナル記事と合わせ、読み応えのあるコンテンツを毎日配信しています。

・「30 UNDER 30」とは

「30 UNDER 30」は、『Forbes』US 版にて 2011 年にスタート。毎年、アートやテクノロジー、教育、メディアなどで様々なカテゴリーから各 30 人を選出する『Forbes』の名物企画で、米国や欧州、アジアなど現在 29 の国と地域で実施しています。過去には、Facebook 創業者のマーク・ザッカーバーグ、ヒップホップアーティストで初めてピューリッツァー賞を受賞したケンドリック・ラマーなど、各界の歴史に残る人物を選出。日本人としては、アジア版「30 UNDER 30」で、サッカー選手の香川真司やフィギュアスケート選手の羽生結弦が選出されています。

■モンブランについて

モンブランは 1906 年以来の先駆的な精神に則って、画期的な技術革新で筆記文化に革命をもたらしました。現在、モンブランは、頂点を極めた筆記具はもちろん、時計、レザーアイテム、アクセサリ、香水、アイウェア等の分野にその領域を開拓し、精緻なクラフツマンシップを進化させ続けています。おのおのの分野において、伝統に磨かれた新しい機能性と画期的なデザインを提供するため、その分野における最高の職人技を捜し求めた結果、筆記具はドイツのハンブルク、時計はスイスのジュラ地方のル・ロックルとヴィルレ、レザーアイテムはイタリアのフィレンツェに自社工房を設立しました。生涯のビジネスライフスタイルパートナーとして相応しいパフォーマンス、新鮮さ、品質、スタイルを約束するのは、アイコン的なモンブランのブランドロゴマークです。また、モンブランは、筆記文化に深く根ざしており、様々な形で芸術文化を広めるための幅広い活動を活発に行っています。

・「Mark Maker」とは

ビジネス、デザイン、スポーツ、文化芸術など、各分野で全く新しい物語を紡ぎだし、ゆるぎない足跡を刻んだ人、または足跡を刻もうとしている人を、モンブランは「Mark Maker」と名付けています。現在、20 か国以上において、様々なフィールドから「Mark Maker」たちを見出し、彼らの独自の哲学、功績、そして未来の夢を語っていただくことで、日本のビジネスパーソンやクリエイターたちにエネルギーを与えることができると考えています。

日本においては、ビジネスマンやクリエイターを読者に持つ『Forbes JAPAN』が運営する「30 UNDER 30」キャンペーンの意義に共鳴し、9 月 12 日実施の受賞セレモニーイベントを核として、様々なきらめく才能を世に紹介していきます。